



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢崎 登

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 島田 和長

TEL 03-5437-2311

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,633	16.1	1,248	12.4	1,119	9.5	987	8.2
23年3月期第2四半期	9,155	14.3	1,110	56.0	1,022	38.2	912	50.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,061百万円 (15.0%) 23年3月期第2四半期 923百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.59	10.57
23年3月期第2四半期	9.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,830	9,317	46.7	99.91
23年3月期	19,208	8,549	44.1	90.87

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,258百万円 23年3月期 8,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,600	16.7	2,100	6.7	1,900	11.0	1,700	10.5	18.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	93,481,700 株	23年3月期	93,481,700 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	223,488 株	23年3月期	214,661 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	93,264,216 株	23年3月期2Q	93,272,590 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P.2「(1)連結経営成績に関する定性的情報」及びP.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動の水準が低下し、失業率が依然として高水準にあるなど厳しい状況の中で幕を開け、緩やかなデフレ状況が続いているなか、急速な円高の進行等による景気の下振れによる企業収益の低迷、雇用情勢の持ち直しの動きに足踏みがみられるなど、依然として厳しい状況が続いております。しかし、終盤にかけて生産水準に上向きの兆しがみられ、また、個人消費も上向きに推移するなど、景気に持ち直しの動きがみられる中で推移しました。

このような経済環境の下で当社グループは、M&A及び組織再編の手法による一連の戦略的事業再構築を通じて経営資源の選択と集中並びに事業領域の拡大を推進し、健全かつ強固な経営基盤と、持続的成長を可能とする多極的な事業構造を着実に構築しつつあります。このため、主力である遊技機関連機器事業においては、主力のOEM製品の強化に取り組み、より安定した収益基盤の確立に努めると共に、自社ブランド製品である紙幣識別機のバリエーション増加及びこれを搭載した新製品、新型券売機の開発、人材確保・育成を行う等、開発体制を強化しております。また、災害発生時における事業継続リスクを一定程度回避し、生産・供給の安定性をより高めるべく、本年10月より子会社であるキャスコ(株)志度工場において、OEM製品の生産を行っております。

一方、スポーツ事業におきましては、内外の主要市場における消費者心理の冷え込みが続いていることに加え、東日本大震災による悪影響もあり厳しい状況が続いているものの、利益率の高いカタログシャフト「ATTASシリーズ」及び遮断桿の売上が増加すると共に、キャスコ(株)の業績も順調に推移する等、持ち直しの兆しがみられております。また、子会社である(株)シャフトラボを売却することによりキャスコ(株)に経営資源を集中し、総合ゴルフ用品メーカーとしての事業基盤を確立し、さらなる成長を目指しております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は106億33百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は12億48百万円（前年同期比12.4%増）、経常利益は11億19百万円（前年同期比9.5%増）、四半期純利益は9億87百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (電子機器事業セグメント)

電子機器事業セグメントは、東日本大震災の影響により、当社OEM製品のエンドユーザーであるパチンコホールにおける広告自粛、輪番休業、営業時間短縮等による経営状態悪化と設備投資意欲減退に対する懸念等から販売の苦戦が見込まれたなか、OEMの新製品が第1四半期に引き続き好調に推移すると共に、パチスロの新製品が各メーカーから発売された影響もあり、メダル貸機の販売数が増加するなど若干の持ち直しの兆しがありましたが、前年同期と比較して減収となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は76億31百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は10億94百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

#### (スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業セグメントは、東日本大震災の影響により、国内のゴルフ場来場者数及びゴルフ場収益が共に減少傾向にあり、また、内外の主要市場における消費の売上も減少し、単価の下落も顕著になっております。

このような事業環境の下で、子会社であるキャスコ(株)の業績は、厳しい状況が続いているものの持ち直しの兆しがあり、KIRAシリーズボールの「KIRAクレノ」、盛夏商品（ Poloシャツ、ネッククーラー、クーリングタオル）、新規導入したクラブのD-MAX ARシリーズの売上が順調に推移し、前年同期と比較して増収増益となりました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は30億2百万円（前年同期比147.9%増）、営業利益は1億53百万円（前年同期比844.3%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は198億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億22百万円増加いたしました。これは主として、商品及び製品の減少4億円等があったものの、投資有価証券の増加9億61百万円及び現金及び預金の増加2億65百万円等があったことによるものです。

当第2四半期連結会計年度末の負債合計は105億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少いたしました。これは主として、仕入債務の増加1億87百万円等があったものの、繰延税金負債の減少91百万円及び社債の減少45百万円及び未払法人税等の減少32百万円等があったことによるものです。

当第2四半期連結会計年度末の純資産は93億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億67百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加7億20百万円及び為替換算調整勘定の増加78百万円等があったことによるものです。

## 2. キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は67億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、12億8百万円の増加（前年同期は10億76百万円の資金増加）となりました。これは主として、売上債権の増加5億51百万円等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益11億16百万円及び仕入債務の増加3億18百万円の資金増加要因があったことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、6億42百万円の減少（前年同期は6億5百万円の資金減少）となりました。これは主として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入1億41百万円等の資金増加要因があったものの、投資有価証券の取得による支出5億77百万円、有形固定資産の取得による支出90百万円及び貸付による支出76百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2億37百万円の減少（前年同期は2億38百万円の資金減少）となりました。これは、長期借入れによる収入5億円の資金増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出5億16百万円及び配当金の支払額2億74百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年8月5日付の「平成24年3月期第1四半期決算短信」において公表いたしました予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

### 【追加情報】

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,525,500	6,790,529
受取手形及び売掛金	3,443,746	3,690,823
有価証券	12,504	12,504
商品及び製品	2,071,475	1,671,001
仕掛品	415,403	404,222
原材料及び貯蔵品	774,964	707,729
繰延税金資産	109,667	106,449
その他	174,466	122,386
貸倒引当金	△23,300	△26,929
流動資産合計	13,504,429	13,478,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	515,989	494,658
機械装置及び運搬具（純額）	133,223	152,428
工具、器具及び備品（純額）	77,888	75,948
土地	867,345	584,495
リース資産（純額）	2,447	2,128
建設仮勘定	17,682	33,261
有形固定資産合計	1,614,576	1,342,919
無形固定資産		
のれん	1,461,142	1,374,046
その他	427,999	438,966
無形固定資産合計	1,889,141	1,813,012
投資その他の資産		
投資有価証券	1,433,351	2,395,273
繰延税金資産	302,058	316,206
その他	1,032,961	1,054,518
貸倒引当金	△568,044	△569,863
投資その他の資産合計	2,200,327	3,196,134
固定資産合計	5,704,046	6,352,065
資産合計	19,208,475	19,830,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,691,395	3,878,786
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	1,061,168	1,372,236
短期借入金	27,000	100,000
未払法人税等	166,230	133,590
賞与引当金	51,421	84,437
その他	878,921	654,253
流動負債合計	5,966,135	6,313,303
固定負債		
社債	160,000	115,000
長期借入金	3,790,594	3,462,930
繰延税金負債	94,038	2,946
退職給付引当金	452,745	436,370
役員退職慰労引当金	93,336	60,004
その他	101,773	123,093
固定負債合計	4,692,487	4,200,344
負債合計	10,658,623	10,513,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	4,387,350	5,107,836
自己株式	△32,115	△32,942
株主資本合計	8,313,982	9,033,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,358	18,413
為替換算調整勘定	127,983	206,467
その他の包括利益累計額合計	161,341	224,880
新株予約権	—	14,527
少数株主持分	74,528	44,086
純資産合計	8,549,852	9,317,134
負債純資産合計	19,208,475	19,830,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,155,511	10,633,747
売上原価	6,336,505	6,892,199
売上総利益	2,819,006	3,741,547
販売費及び一般管理費	1,708,274	2,493,201
営業利益	1,110,732	1,248,346
営業外収益		
受取利息	1,113	908
受取配当金	19,055	21,112
固定資産賃貸料	19,464	11,588
その他	5,457	21,575
営業外収益合計	45,090	55,184
営業外費用		
支払利息	23,148	53,209
固定資産賃貸費用	19,304	9,714
為替差損	86,533	118,238
その他	4,256	2,590
営業外費用合計	133,243	183,752
経常利益	1,022,579	1,119,778
特別利益		
固定資産売却益	166	—
貸倒引当金戻入額	2,121	—
受取補償金	—	299
特別利益合計	2,288	299
特別損失		
固定資産除売却損	23,541	94
特別退職金	—	3,592
特別損失合計	23,541	3,687
税金等調整前四半期純利益	1,001,326	1,116,391
法人税、住民税及び事業税	86,764	140,437
法人税等調整額	1,677	△22,119
法人税等合計	88,442	118,317
少数株主損益調整前四半期純利益	912,883	998,073
少数株主利益	—	10,288
四半期純利益	912,883	987,785



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	912,883	998,073
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,398	△14,945
為替換算調整勘定	11,951	78,484
その他の包括利益合計	10,553	63,538
四半期包括利益	923,437	1,061,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,437	1,051,323
少数株主に係る四半期包括利益	—	10,288

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,001,326	1,116,391
減価償却費	59,922	90,613
のれん償却額	44,938	108,289
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,595	5,536
賞与引当金の増減額 (△は減少)	181	34,551
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,434	7,578
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,058	△33,332
受取利息及び受取配当金	△20,168	△22,021
支払利息	23,148	53,209
為替差損益 (△は益)	86,533	118,238
固定資産除売却損益 (△は益)	23,374	94
売上債権の増減額 (△は増加)	△679,847	△551,772
たな卸資産の増減額 (△は増加)	545,636	286,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,976	318,564
その他	103,619	△110,568
小計	1,136,715	1,422,278
利息及び配当金の受取額	20,199	15,455
利息の支払額	△24,487	△55,906
法人税等の支払額	△55,938	△173,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,076,488	1,208,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	△15,000
定期預金の払戻による収入	60,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△47,620	△90,512
有形固定資産の売却による収入	12,867	—
無形固定資産の取得による支出	△380,952	△38,368
投資有価証券の取得による支出	△363,048	△577,504
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	141,005
子会社株式の取得による支出	—	△62,944
貸付けによる支出	—	△76,090
貸付金の回収による収入	2,832	8,749
その他	140,642	8,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605,278	△642,164

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入れによる収入	290,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△483,296	△516,596
社債の償還による支出	△45,000	△45,000
自己株式の取得による支出	△293	△827
配当金の支払額	—	△274,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,590	△237,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,007	△4,134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	220,612	325,279
現金及び現金同等物の期首残高	5,870,261	6,430,500
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△15,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,090,874	6,740,529

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。